

令和二年度
大海小 学校だより

1 月号

おおみ

令和2年12月25日

校長 喜多 由紀

2021年は良い年となりますように

今年は、新型コロナウイルス感染予防策のために、新しい生活ルールの中での不自由な学校生活でした。マスクの常用や活動の中止・縮小等、子どもたちにとって我慢しなければならないことが多い年でした。しかし、来年は丑年で



す。丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

まだまだ我慢することはあっても、きっと明るい話題が増えてくると思います。大海小の子どもたちにとって、保護者の皆様、地域の皆様にとっても良い年となりますように願っています。そのためにも、学校・家庭・地域とが手を携えて一丸となれますように努力していきますので、どうぞ来年もご協力ご支援よろしくお願いいたします。

門松作り（2年ちょこボラ） そして、待ち望んでいたオリンピック・パラリンピックも開催される2021年を迎えます。子どもたちには、新たな気持ちで三学期をスタートして欲しいと思います。大海小の子どもたちには、いつも【何かする時は『ひとつ足し算』】と話しています。この冬休み中も、「何かもう一つ加えてできないか」と考えたり行動したりすることができるように、ご家庭でも声かけをお願いします。三学期も西田幾多郎記哲学館のご協力をいただき、全学年で『哲学対話』を予定しています。それぞれの子どもたちが、「自分の考え」や「友達の考え」を互いに聞き合い、大事にする経験を重ねていきます。ご家庭でも、お子様の意外な発想をぜひ楽しんで耳を傾けてあげてください。また、今年は、コロナ禍の中、学校活動の変更等で、保護者の皆様や地域の皆様方には、大変ご迷惑をおかけしました。多くの皆様方に温かく支えていただきましたこと、本当に感謝申し上げます。

1月の生活目標・・・『気持ちのよいあいさつをしよう』

1月は、様々な場面で、自分からあいさつができることを目指します。気持ちよく「自分から」「相手の顔（目）を見て」「だれにでも」ができるように取り組みます。なかよし班での朝の挨拶運動『元気いっぱいあいさつウィーク』（1月12日（火）～21（木））期間中は、『あいさつ名人』が、毎日放送で発表されます。ご家庭でも地域でも、自分から積極的に挨拶ができていたら褒めてあげてください。きっと励みになります。



1月の学習目標・・・『場に合わせた声の大きさに話す』

大海小学校では、「全員リレー発表」で、月に1回話し方と聞き方を練習しています。少しずつ話すことも聞くことも力をつけてきました。



三学期は、いよいよ6年生を送る会や卒業式の準備や練習が始まります。

1月は、場面に合わせた声の大きさに話せるように取り組みます。グループでの話し合い・教室での発表・体育館・運動場等、空間の大きさや場面に応じた声の大きさになるように、きっと頑張ってくれると思います。